

障がい者一人ひとりに 合った支援計画を

障害福祉サービスを受けている方が、高齢になったときに介護保険優先ということに縛られて、本人が望む福祉サービスが受けられないケースが全国的にも問題になっています。

国からも自治体へ「一律に介護保険を優先しない。障害がある方の生活に即した障害福祉サービスの計画をするように」との通知が出されています。

ます。

安江ゆう子市議は、松浦市もこの通知を尊重する立場をとることを求めて質問しました。

安江 障害福祉サービスの就労継続支援B型のサービスを受けておられる方が「介護保険優先となるので、現在の障害福祉サービスを受けるなら、介護保険制度でのデイケアを受けなければ、就労継続

誰もが利用しやすい 子ども医療費助成を

松浦市は安心して妊娠・出産・子育てができる街をめざし様々な施策がされていきます。市の合計特殊出生率も1・94に上がり、松浦市の子育て支援がますます広がるように、安江ゆう子市議は、子どもの医療費助成について質問しました。

市側は、現在、松浦市が行っている子ども医療費の助成方法は、乳幼児以上の子ども

については、償還払いになっており、これを自動償還払いにするのは、県外の医療機関にかかっている方もいるため、事務的負担や、手数料の発生などで導入は困難である。利用者にとって、一番いいのは現物給付なので、県、国に対して機会あるごとに要望していきたいと答えました。



平成27年度からJR九州フアーム(株)が松浦市で農業参入しました。この3年間で

総事業費は、3億3530万円、市の補助金は7620万円です。現在、期間契約者として、松浦市在住の方が11名就労されていますが、勤務日数が少なく生活できない賃金をもらえない状態です。

安江ゆう子市議は、松浦市が、協定書にもとづき働いている方がきちんと生活できる賃金が確保できているのかどうか実態把握してほしいと質問しました。

安心して働ける環境を

支援B型のサービスは受けられない」と福祉事務所障害担当者に言われ、介護保険優先で指導されていきました。松浦市の考えとして、国からの通知を尊重する立場になってい

ただきたい。福祉事務所長 松浦市では介護保険制度の対象者には、本人と関係者を交え本人の意向をサービス計画に反映させている。介護保険を優先してはいない。

安江 では、この就労継続支援B型を受けておられる方の計画書は作り直されるのですね。

福祉事務所長 私どもの説明不足があったと考える。関係者を含め検討する。

いっしょうけんめい 安江ゆう子市議

6月18日 松浦市中学校総合体育大会陸上競技大会



7月1日 星鹿保育園七夕の集い



7月22日 新松浦漁協養殖祈願祭



6月22日 加椎敬将(かいしひろかづ)氏の木彫修復



7月21日 福島中学校視察



7月23日 青島のうまかもん祭り

